

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
コーチングⅡ	3	後期	2	学部共通・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(たなべ ただし) 田辺 忠史	ユニプループを活用します。			

(英文科目名 Coaching Ⅱ)

授業の概要

コーチとして、コーチング・スキルを学びつつ、先輩・後輩関係を構築するプロセスに参加します。参加対象となる授業の目的や到達目標と一緒に考えることで自身の学びも深められます。コミュニケーション・スキル育成のための講義・演習を行った後、コーチとして実習に参加します。受講学生との対話や指導、支援を行うなかで傾聴力、引き出す力、質問力などが身につきます。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(4)、すなわち、講義で培った知識やスキルと体験による総合的な学修経験を得る科目として位置づけられます。この科目は本学の導入している体験型授業のひとつで、先輩・後輩関係の中で学び合えることが特徴となっています。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1) 知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。		
(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	コーチとして授業に参加することで、コーチング・メソッドの基礎スキルを身につけ実施できる。
(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	◎	コーチとして授業参加し学びの支援をすることで、指導科目についての学修を一層深め応用することができる。
(4) 総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義(前半6回)、実習(担当教員の指示に従い、授業を支援する)

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修/事後学修
1	イントロダクション	事前学修: シラバスの確認と理解(30分) 事後学修: ワークシート(30分)

2	コーチングの学習(基本の復習)	事前学修:前期の振り返りシート(90分) 事後学修:基本事項の整理(30分)
3	コーチングの学習(目標設定)	事前学修:目標を立てることの意義についての課題(30分) 事後学修:目標(30分)
4	コーチングの学習(GROWモデル)	事前学修:質問をする意味に関する課題(30分) 事後学修:質問の仕方と意味の関連に関する課題(30分)
5	コーチングの学習(自己肯定)	事前学修:他者との関係に関する事前課題(30分) 事後学修:承認のあり方に関する課題(30分)
6	コーチングの学習(総合ロールプレイ)	事前学修:学習の特徴に関する課題(30分) 事後学修:学習のコーチングについての課題ワークシート(30分)
7	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
8	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
9	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
10	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
11	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
12	振り返り①	事前学修:振り返りノートの作成(30分) 事後学修:振り返りのまとめ(30分)
13	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
14	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
15	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
16	実習	事前学修:担当授業の予習(30分) 事後学修:担当授業の振り返り(30分)
17	実習	事前学修:担当授業の予習(30分)

		事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
18	振り返り②	事前学修: 振り返りノートの作成(30分) 事後学修: 振り返りのまとめ(30分)
19	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
20	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
21	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
22	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
23	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
24	振り返り③	事前学修: 振り返りノートの作成(30分) 事後学修: 振り返りのまとめ(30分)
25	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
26	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
27	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
28	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
29	実習	事前学修: 担当授業の予習(30分) 事後学修: 担当授業の振り返り(30分)
30	まとめ	事前学修: 振り返りノートの作成(30分) 事後学修: 全体のまとめ(30分)

成績評価の方法・基準

参加を通じて学びを発見するという授業スタイルであることから、実習や演習の参画度と授業姿勢を重視します。受講態度・参画度(50%)、課題・レポート(50%)などにより総合的に評価します。

指定教科書

なし

参考文献等

参考文献は適宜指示します。また、資料を適宜配布します。

履修上の留意点

授業支援を行うため一定の基準を満たしている必要があります。

実務経験